科目名 Subject	チャイルドケア演習 Childcare Practice		教員名	河﨑　峰子	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	○	○	◎
科目の概要	幸福の追求に「物の豊かさ」よりも「心の豊かさ」に価値観が変化していく現在、家族の持つ存在意義が確立され、今企業は、お子様とお子様連れのお客様へのサービスの質の向上が求められています。お子様とお子様連れのお客様に喜んでいただけるサービスを提供できる人は、企業はもとより、社会が求める人像なのです。お子様とそのご家族に安心、快適さ、より高い満足を提供するための知識と技術を、授業を通して習得します。また美歳学においた幼少期の成長も学びます。				
授業の目標	サービス産業に携わる者として、お子様とお子様連れのお客様の対応も大切なスキルの一つです。良いコミュニケーションを実践することで、お客様の満足度を引き上げ、サービス産業の活性化に役立つ基礎知識を習得します。授業では、お子様の発達や心理、事故防止策や体調管理等お子様に関する知識は勿論のこと、お子様のご家族様への対応をも学び、実践できるようになります。具体的には「チャイルドケアオブザーバー」の資格を取得します。				
時間外学習 （予習・復習）	各回授業の大まかの内容の予習、授業のポイントとなる内容の復習を行って下さい。また復習として作品制作も行います。具体的な例として手遊び歌を調べたり、習ったことをスムーズに実践できるように反復練習します。加えて「チャイルドケアオブザーバー」の資格取得のための予習復習も励行し、知識習得確認テストを授業内で数回行いますので準備してください。時間外学習は概ね60分から90分を見込みます。				
教科書・教材	教科書	「チャイルドケアオブザーバー」養成講座テキスト（新保育学会・2015年9月1日）			
	教材	必要に応じてプリントを配布します。			
	使用設備・備品	ＣＤ、ＤＶＤ、ビデオ再生機。			
	参考文献	必要に応じて提示します。			
評価方法	授業参加意欲30%、子供を楽しませる実践テクニックの作品制作15%、筆記試験55%の結果等を総合的に評価します。授業態度は重視します。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	レポートに対して、コメントを返します。				
	授業内で理解度を確認し、知識の再習得を行います。				
履修上の注意	私語、居眠り、飲食、携帯電話の使用、授業の妨げ、マナーに反する行為は退出を命ずることがあります。質問や意見をどんどん出して授業に積極的に参加すること。				
本科目履修と関連する資格	資格名	「チャイルドケアオブザーバー」別途受験料、テキスト代等で27000円必要となります。			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション チャイルドケアオブザーバーとは何かを学ぶ。	授業の進め方、授業の全体像を理解し、授業の展開を予測できるようになる。	テキストを一通り読む。P2～P187（60分以上）
第２回	チャイルドケアオブザーバーの基本理念を学ぶ。	基本理念・役割・実践力を高める3ステップを理解し、述べることができる。	教科書P2～P11を復習し、「3ステップ」の理解を深め、確認テストをする。次回単元の教科書を読み込む。
第３回	チャイルドケアオブザーバー誕生の社会的背景を学ぶ。 確認テストの答え合わせを行う。	国民の価値観の変化を学び、比較することができる。	教科書P13～P25を復習し、習った内容の理解を深め、確認テストをする。次回単元の教科書を読む。
第４回	チャイルドケアオブザーバー誕生の社会的背景と環境を理解する。 確認テストの答え合わせを行う。	社会環境の変化にはどのようなことがあるか理解し、述べることができる。	教科書P13～P25を復習し、習った内容の理解を深め、確認テストをする。次回単元の教科書を読む。
第５回	子どもの発達と心理を学ぶ。確認テストの答え合わせを行う。	からだと心の発達、栄養と食事を理解し、説明する事ができる。	教科書P27～P50を復習し、習った内容の理解を深め、確認テストをする。次回単元の教科書を読む。
第６回	子どもの発達と心理から、人間の欲求を学ぶ。確認テストの答え合わせを行う。	睡眠・排泄、身体的発達、児童の成長を理解し、関係づけることができる。	教科書P51～P59を復習し、習った内容の理解を深め、確認テストをする。次回単元の教科書を読む。
第７回	子どもの事故防止を学ぶ。確認テストの答え合わせを行う。	事故への誘因、傾向、防止を理解し、事例研究をすることができる。	教科書P61～P79を復習し、習った内容の理解を深め、確認テストの為の学習をする。次回単元の教科書を読む。
第８回	子どもの怪我への対応と応急手当を学ぶ。確認テストの答え合わせを行う。	万が一に備える知識を習得し、対応と応急手当が実施できる。	教科書P81～P93を復習し、習った内容の理解を深め、確認テストの為の学習をする。次回単元の教科書を読む。
第９回	体調の悪いお子様への対応とアレルギーを学ぶ。確認テストの答え合わせを行う。	対応と対処法を学び、アレルギーの知識も習得し、適切な対応ができるようになる。	教科書P95～P113を復習し、習った内容の理解を深め、確認テストをする。次回単元の教科書を読む。
第１０回	子どもの心をつかむコミュニケーション術を学ぶ。確認テストの答え合わせを行う。	３つのポイントを学び、子供の行動を理解しコミュニケーションがとれる。	教科書P115～P135を復習し、習った内容の理解を深め、確認テストをする。次回単元の教科書を読む。
第１１回	子どもを楽しませる実践テクニックを学ぶ。確認テストの答え合わせを行う。	手遊び、折り紙等で子供と一緒に遊びを実践できる。	教科書P137～P140を復習し、習った内容の理解を深め、確認テストをする。次回単元の教科書を読む。
第１２回	子どもの困った場面での対応を学ぶ。確認テストの答え合わせを行う。	子供の与えられた状況を好転させるテクニックを学び、コミュニケーションがとれる。	教科書P141～P150を復習し、習った内容の理解を深め、確認テストの為の学習をする。次回単元の教科書を読む。
第１３回	子どもの安全な介助法とは何かを学ぶ。確認テストの答え合わせを行う。	赤ちゃんの抱っこ、ベビーカーの取り扱い等を習得し、実行できる。	教科書P151～P161を復習し、習った内容の理解を深め、確認テストの為の学習をする。次回単元の教科書を読む。
第１４回	ご家族への理解と接遇とマナーを学ぶ。確認テストの答え合わせを行う。	親の心理や社会環境を等を理解し、配慮できる。	教科書P163～P187を復習し、習った内容の理解を深め、確認テストをする。
第１５回	まとめ（15回を振り返り、確認テストを再度見直し、100問テストの学習をする。）	チャイルドケアオブザーバー全体を振り返り、習熟度を確認し、実践することができる。	全体的な復習をし、理解度を深める。100問テストを実施する（90分）